

広島市植物公園

見どころ案内

オトコエシ 男郎花 (オミナエシ科)

オミナエシ 女郎花 (オミナエシ科)

ほぼ同じ形の花で、白い花がオトコエシ、黄花がオミナエシです。万葉集にも出てくるオミナエシの名が先についたようです。白花のほうは、背が高く丈夫そうなので男郎花の名がつけました。花の進化園に並べて植えてあります。

トゲオニソテツ (ソテツ科)

巨大な松ぼっくりのような赤い雌花が見られます。雌雄異株で南アフリカ原産です。結実すると松ぼっくりの部分がバラバラになります。

薬用植物展

展示温室にて

9/29(日)まで開催中

特別企画展 らんかふ 蘭花譜展

9/14(土)~12月23日(月・祝)

展示資料館 1階展示室にて開催

一流の、蘭の収集家、栽培家、画家、木版ほりし彫師、摺師すりしが作りあげた幻のコレクション 104 枚を前・中・後期に分けてすべて展示します。見どころは1946年、カラー印刷の技術が発展途上の時代に、83 枚が浮世絵の木版画の技法で印刷されたこと。芸術的にも大変価値のあるカラー図譜です。

※10/17まで前期 展示中!

中期 10/19~ 後期 11/23~

ネコノチチ (クrouメドキ科)

実を猫の乳首に見たてて名がついたとか…。葉は2枚ずつの変則互生です。実を見るならロックガーデン、葉はハギ園近くがおすすめ。

センニンソウ キンポウゲ科)

日本の野山に自生するクレマチスの1種です。道路沿いの手すりに白い小さな花をたくさん咲かせています。

オオモクゲンジ

(ムクロジ科)

中国原産の落葉高木森のレストランです。花は枝先に咲くので、展望塔の屋上からよく見えます。黄色い小さな花が房になって咲きます。

リコリスの仲間

(ヒガンバナ科)

ヒガンバナは、秋の彼岸(秋分の日前後)に咲くので名がつけました。毎年、びっくりするほど正確に彼岸に開花します。今、開花中の**ショウキズイセン**は、あざやかな黄色です。

ヒガンバナ (ヒガンバナ科)

あずまの近くに咲く彼岸花は、花の進化園より 2、3 日おくれで開花します。花の進化園が盛りをすぎていてもあきらめないで、丘へ登ってみてください。

